

迎 春



第9回やまなし農村風景写真コンクール 知事賞 渡辺 勝 様 「冬の朝」撮影場所：忍野村



発 行 所

甲府市蓬沢1-15-35
山梨県自治会館5階
電 話 055(235)3653
FAX 055(228)8174
山梨県土地改良
事業団体連合会
会 長 白 倉 政 司



新年のご挨拶

水土里ネットやまなし
(山梨県土地改良事業団体連合会)

会 長 白 倉 政 司

明けましておめでとうございます。
平成二十八年の輝かしい新春を迎え、謹んで
新年のご挨拶を申し上げます。
会員並びに関係者の皆様にはお健やかに新
春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素より本会の運営並びに農業農村整備事
業の推進につきまして、格別のご支援とご協
力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。
昨年を振り返れば、韮崎市出身の大村智・
北里大学特別荣誉教授がノーベル医学・生理
学賞を受賞され山梨県内だけでなく国内でも
大変な話題となりました。明るい話題の一方
で自然災害の恐怖を目の当たりにしました。
九月に発生した関東・東北豪雨災害で関東地
区は大変な被害を受け復興は、道半ばであり
一刻も早い復旧・復興を願うものです。
昨年は、「新たな食料・農業・農村基本計画」
が閣議決定され、食料自給率の向上に向けた
施策を展開するとともに、構造改革の加速化
や国土強靱化に資する農業生産基盤の事業を
計画的かつ効果的に実施しています。

また、山梨県ではTTPに象徴される経済
のグローバル化や、農業・農村を取り巻く変
化に対応していくために本県農業の更なる振
興を図るための基本的な施策等を示した「新・
やまなし農業大綱」を策定されました。この
大綱では、高品質化、販路開拓による儲かる
農業の展開や、活気に満ちあふれた農山村の
創造の実現に向けた七つの施策を掲げており
ます。本会でも、県内全域を整備した「水土
里情報システム」を利用し、農地の管理や防
災・減災対策など、幅広い分野に活用して県・
市町村・土地改良区と一丸になり農業・農村
整備事業を展開し、『力強い農業農村づくり』
をめざして行きたいと思っております。
今後、役職員が一体となつて、本会の業
務運営に努力をして参りたいと考えておりま
すのでご支援、ご協力賜りますようお願い
を申し上げます。
結びに、本県農業の発展、皆様方のご健勝
とご多幸をご祈念申し上げ年頭の挨拶と致し
ます。



みどり
水土里ネット
やまなし

農業の未来をひらき
緑なすやすらぎのふる里を
豊かな国土を守り育てる
土地改良を推進しよう

みなさんの連合会です

- ◆ 農業農村整備事業調査設計
- ◆ 換地確定測量業務
- ◆ 施設の診断、相談等
- 経験豊かで信頼ある連合会へ



新年の挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

進藤 かねひこ

新年あけましておめでと〜うございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

私は、昨春、新しく全国土地改良事業団体連合会会長に就任された二階俊博先生が提唱された「闘う土地改良」に込められた真義に感銘し、また触発され、政治活動の途を志す決意を固め、昭和六十一年に入省以来、二十九年間勤めてきた農林水産省を昨年六月、中山間地域振興課長を最後に辞職しました。

その後、七月二十九日に都道府県土地改良事業団体連合会会長会議（全国水土里ネット会長会議）顧問を仰せつかり、全国各地を回り、その実情を聞かせて頂きました。移動した距離は約三〇万km、日本の農業水路の総延長約四〇万km（地球十周分）の四分の三に達しました。全国を巡回する中で、我が国の国土には人間の体でいうと動脈と静脈にあたる農業用水路・排水路が隅々まで張り巡らされ、肉体にあたる四五〇万haの農地と一体になって国民の食料を支えており、多面的機能の適切な発揮を通じて、まさに日本の国土を支えていることを改めて実感した次第です。そして、様々な課題も聞かせて頂きました。農業・農村の現場で聞く声は本当に切実で、心に響きました。過去、現在・将来とも国民の食料を支える農地と水、それを可能としている土地改

良は「日本の命綱」でありますが、その命綱が切れそうになっていることに強い危機感を禁じ得ません。

全国各地を回り始めてから約四か月経た時点で、私なりに全国の声を集約し、全国水土里ネット会長会議に報告しました。そして、その報告した内容を私に課せられた五つの使命として承り、その使命を果たすため全身全霊で取り組んでまいります。

1. 土地改良の予算確保に全力
2. 日本型直接支払制度の充実に全力
3. 災害に強い農山漁村づくりに全力
4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承に全力

5. 農業と農山漁村への国民の理解に全力

この「五つの全力」を通じて、「安全で安心な食」、「大切な農地と水」、「美しい農山漁村」、この三つを守り抜くことを約束します。

貴県におかれては、「新・やまなし農

業大綱」を策定し高品質化、販路開拓による 儲かる農業の展開や、活気に満ちあふれた農山村の創造の実現に向けた七つの施策を揚げ、県農業の更なる振興を図られていけると承知しております。

貴県の取り組みも十分勉強させて頂きながら、農業・農村の現場と行政・国政の場とのギャップを主導し、自らがそのボールとなって粘り強く両方の「場」を往復できるように、果敢な中にも謙虚に自己を研鑽し、更に幅広く深く政治活動を前に進める覚悟です。最後に、今年は、土地改良にとって剣ヶ峰と言つてよい程の大きな節目の年となります。私は、幅広い国民の皆さんのご理解と土地改良に関わる私たちの結束を源泉として、「闘う土地改良」の先頭に立って全力疾走することを改めてお誓いします。

本年が皆様お一人おひとりにとって良き年となることを祈念し、私の年頭のご挨拶と致します。





新 年 の 挨 拶

山梨県農政部長

橘 田 恭

新年おめでとうございます。

土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から、県農政並びに農業農村整備事業の推進に格段の御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、二月に後藤斎知事が就任し、「プラチナ社会の実現」に向けて、新規事業をはじめとした各種農業施策に取り組んできました。

また、新たな県政運営の指針となる総合計画「ダイナミックやまなし総合計画」の農業部門の計画として「新・やまなし農業大綱」を策定いたしました。

この大綱では、将来にわたって、山梨の農業が地域の魅力を発信し続け、地域経済の牽引役となるよう、「地域の魅力の原動力『やまなし農業』」を目指す姿とし、「高品質化・販路開拓による儲かる農業の展開」と「活気に満ちあふれた農山村の創造」という二つの大きな目標のもと、各種施策を着実にかつスピーディーに進めていくこととしています。

これらの施策を進める上で、農業生産には欠くことのできない農地・農業用水等の土地改良施設の整備は重要な役割を担うものであり、本大綱においても農業農村整備事業を積極的に推進

していくこととしております。

主な施策としては、本県農業の競争力を高めるため、農地中間管理機構と連携した担い手への農地集積や本県農業の基幹となる果樹産地等における再編整備を進めるとともに、災害に強い県土づくりに向けて、農道橋やため池等の農業用施設の長寿命化・耐震化対策、農村地域の防災・減災対策を進めるための施設整備などを推進することとしております。

TPP（環太平洋パートナーシップ）対策につきましては、協定が昨年十月に大筋合意に至ったことを受け、県では知事を本部長とする対策本部を設置し、情報収集と情報共有を図り、TPP協定に関する本県の対策を総合的に行

うこととしております。農業分野においても、国のTPP政策大綱に基づく補正予算等を積極的に活用するなど、関係団体と連携の下、効果的な対策を講ずることで、マイナスの影響を抑制し、プラス効果の創出に努めて参ります。

本年も、「やまなし農業」を元気にし、農業を成長産業に導くため、戦略的な取り組みに積極果敢にチャレンジして参りますので、皆様の一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と本年が皆様にとりまして希望に満ちた幸多い年となりますよう心より御祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。





山梨県農政部耕地課長

福嶋 一郎

新年明けましておめでとございませう。

山梨県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、常日頃より、農業農村整備事業の推進にあたりまして、多くのお力添えをいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、多くの生命や財産を奪った九月の関東・東北豪雨、また、鹿児島県の口永良部島など全国各地で火山活動が活発になるなど、自然の脅威を思い知らされた一年でした。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。幸い、本県では一昨年二月の豪雪のような大規模な自然災害はなかったものの、あらためて事前防災・減災対策の必要性を感じたところであります。

また、農業分野ではT P P（環太平洋パートナーシップ）協定が昨年十月に大筋合意に至ったことから、益々、国際化が進展することとなり、大きな転換の岐路に立った年でもありました。

このT P P協定のほかにも、人口減少社会の到来や地域活力の低下など農業・農村には多くの課題が山積しております。これらに対応し、農業・農村に活力を取り戻すため、本年の農業農村整備事業は次の二つを重点項目とし、積極的に推進していきます。

一つ目は、昨年十二月に策定しまし

た農業振興の新たな基本指針「新・やまなし農業大綱」にも掲げた「農業の競争力を高める基盤整備の推進」です。具体的には、ほ場整備等により農地の区画の拡大を図り、担い手への農地の集積を促進するとともに、果樹産地の生産性の向上を図るための再編整備を加速化し、樹園地等の高機能化に取り組みます。また、これらは国から示されたT P P関連施策大綱にも盛り込まれたことから、着実に取り組み、成果を上げていきたいと考えております。

二つ目は、「災害に強い農村づくりの推進」です。ため池などの農業水利施設等の土地改良施設の老朽化対策や土砂崩壊防止施設などの整備による事前防災・減災対策に取り組みます。これらは、昨年十二月に策定しました「山梨県強靱化計画」に多くの施策を盛り込んでおり、スピード感を持って進めることで、安全・安心に暮らせる地域づくり、定住環境の向上につなげてい



きます。

これらの施策を着実に進めていくためには、農業農村整備事業の予算をしっかりと確保することが重要であります。ここ数年は回復傾向にはあったものの伸び悩んでいた農業農村整備事業予算も、平成二十七年年度補正予算と平成二十八年度当初予算を合わせると前年度より約一千二百億円の増となる予算が計上されました。このことは、貴会役員の皆様の数回にわたる力強い要請活動のおかげであり、ここに厚く御礼を申し上げます。また、今後も安定した予算が恒久的に確保できるよう、引き続き御協力をお願いする次第であります。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の一層の御発展と本年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう心より御祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

山梨県農業農村整備推進協議会要請活動

十二月三日(木)、山梨県農業農村推進協議会では七月に続き二回目となる農業農村整備事業関係の要請活動を行いました。

当日は自民党・下村博文副幹事長、

公明党・高木美智代政務調

査会副会長、麻生太郎財務

大臣、森山裕農林水産大臣

を訪れ、平成二十八年度農

業農村整備事業関係の当初

予算の十分な確保、また、

ため池緊急防災体制整備促

進事業に係る予算措置につ

いて要請書を手渡しました。

要請書 要旨

一 平成二十八年度農業農村整備

事業関係の十分な確保について

二 農業農村整備事業に係わる平

成二十七年補正予算の編成

について

三 ため池緊急防災体制整備促進

事業(監視・管理体制の強化)

に係る予算措置について



自民党 谷垣幹事長



公明党 高木政務調査会副会長



麻生財務大臣

これらの要請に対し、自民党・下村副幹事長並びに、公明党・高木政務調査副会長から、予算確保に向けた強い決意を承りました。

■農業農村整備関係の平成27年度補正予算及び28年度予算の概算決定■

12月18日、臨時閣議において、「TPP 関連政策大綱」に基づく施策及び経済の好循環実現のための経済対策の実行に向け、平成27年度補正予算が概算決定され、農林水産省の補正予算総額は4,008億円、このうち、農業農村整備関係予算は990億円となった。

また、12月24日には、平成28年度政府予算案が閣議決定され、農林水産省の予算総額は、対前年度比100.0%、2兆3091億円となった。このうち、農業農村整備関係の公共事業予算の概算決定額は対前年度比107.6%、2,962億円となった。また、平成28年度に創設される農山漁村振興交付金やTPP関連対策事業などの非公共事業予算1,215億円(対前年度比96.7%)を加えると5,358億円(対前年度比103.2%)となる。

農業農村整備関係予算

(単位: 億円)

区分	27年度 当初予算額	28年度 概算決定額 A	(27年度補正追加額)	
			補正額 B	A+B
農業農村整備事業	2,753 -	2,962 (107.6%)	990 -	3,952 (143.6%)
農山漁村地域整備交付金 (農業農村整備分)	735 -	735 (100.0%)	- -	735 (100.0%)
農地耕作条件改善事業 (非公共)	100 -	123 (122.7%)	- -	123 (122.7%)
計	3,588 -	3,820 (106.5%)	990 -	4,810 (134.1%)

主要予算総括表

事項	27年度 当初予算額	27年度 補正予算額	28年度予算 概算決定額	対前年度比 (%)
公共事業	3,934	1,074	4,143	105.3
農業農村整備事業	2,753	990	2,962	107.6
農山漁村地域整備交付金	1,067	-	1,067	100.0
海岸事業	33	-	33	100.0
災害復旧事業等	82	84	82	100.0
非公共事業	1,256	28	1,215	96.7
計	5,190	1,102	5,358	103.2

(注) 計数は四捨五入のため、端数において合計と一致しないものがある。

農業農村整備の集い

平成二十七年十一月二十七日(金) 東京都平河町砂防会館「シェーンバツハ・サボー」において全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の主催で、『農業農村の集い』が開催されました。

この集いは、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、それぞれの現場で直面している喫緊の課題を再確認し、これらの諸課題に緊急に対応するべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催するものです。全国から土地改良区代表者並びに市町村長、都道府県土地改良事業団体連合会代表者ら八〇〇人余りが参加し、山梨県からは、野田正資徳島堰土地改良区理事長ほか二十四名が参加しました。

集いでは、農林水産省からは森山裕大臣、伊東良孝副大臣はじめ農村振興局幹部、また、七〇名を超える衆参国会議員の臨席を得て開催されました。二階全土連会長が主催者の挨拶を行い、続けて来賓として森山大臣、稲田政務調査会長より祝辞を頂き、両氏とも土地改良の重要性を強く訴え予算確保に努めることを力説しました。

その後、京都大学大学院浅野耕太郎教授による基調報告、農林水産省農村振興局末松広行局長によるTPP関連の緊急報告がありました。集い終了後、本県選出国会議員に対して要請活動を行いました。



森山裕大臣 挨拶



二階全土連会長 挨拶

平成二十七年年度

第二回土地改良区等役職員研修会

平成二十七年十二月四日(金) 山梨県自治会館二階研修室一・二において、平成二十七年土地改良区等役職員研修会を開催しました。

研修会には、土地改良区等の役職員など、総勢五十名の出席がありました。

主催者挨拶として、加藤専務理事より日頃からのご支援と研修会参加への御礼の挨拶の後、山梨県農政部耕地課福嶋一郎課長より来賓の挨拶を頂きました。

この研修会は、土地改良区の運営基盤強化に資するため、新しい取り組みや取り組み事例などについて情報提供を行い、職員の資質向上と円滑な組織運営を図ることを目的に毎年二回開催しています。

今回の研修では農政部耕地課指導財産担当深澤主査が「監査実務について」と題し監査の目的、調査・検証の方法等について講義が行われ、併せて土地改良区への複式簿記導入に関する説明が行われました。

また関東農政局農村振興部土地改良管理課高嶋農地集団化推進官より「個人情報保護について」と題して

マイナンバー制度等が詳しく説明されました。





第9回

やまなし農村風景写真コンクール

入賞作品発表

「つなげよう故郷（ふるさと）ちから」をテーマに、山梨の桃源郷をはじめとした美しい農村景観、農家の方々が丹精込めて作った農産物、田植えや収穫等の農作業、活気ある農村生活や伝統のお祭りなどの作品を募集したところ、総計643点の作品の応募があり厳正な審査の結果知事賞をはじめ入賞作22点が決定しました。入賞作品は、山梨県農政部耕地課のHPに掲載しています。



■審査委員長賞 「雨上がりの朝」
内藤 均様（南アルプス市）
撮影場所：南アルプス市



■山梨県知事賞
「冬の朝」
渡辺 勝様（忍野村）
撮影場所：忍野村



■農政部長賞 「ヤマナシの咲く頃」
文珠川 史様（甲府市）
撮影場所：北杜市



■富士山賞 「ホーキ草の咲く頃」
渡辺 希美子様（富士吉田市）
撮影場所：富士河口湖町

第9回やまなし農村風景写真コンクール受賞者

賞	受賞者	住所	作品名
季節賞(春)	佐野 理香	甲府市	桃の子
季節賞(夏)	白岩 寛史	石川県金沢市	ひまわり畑に降る夜
季節賞(秋)	野村 宗夫	甲府市	ばあちゃんの仕事
季節賞(冬)	日原 美恵子	甲州市	冬の農作業
入選	小尾 明	甲府市	桃の花咲く段々畑
入選	関戸 かつ江	上野原市	長生きの秘訣
入選	堀内 忠一	富士河口湖町	初めてのさくらんぼ狩り
入選	中澤 香代子	甲府市	輝く星
入選	丸山 誠	甲斐市	どーだ！すげーだろ！
入選	塩澤 一真	甲府市	先駆者
入選	沼倉 司	富士吉田市	広がるモロコシ畑
入選	沢登 今朝雄	南アルプス市	李の花咲く頃
入選	秋山 いつき	山梨市	晩秋
入選	入倉 求	南アルプス市	春の棚田
入選	菊地 和夫	上野原市	見回り散歩
入選	阿井 裕志	昭和町	春の息吹
入選	星野 郁男	上野原市	雪の降る畑地
入選	三浦 正明	富士吉田市	命育くむ時間

・敬称は略させていただきます

謹んで新年の

御祝詞を申し上げます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

平成二十八年元旦

水土里ネットやまなし

(山梨県土地改良事業団体連合会)

会長	北杜市長	白倉政司
副会長	甲斐市長	保坂武司
専務理事	甲州市長	田辺篤啓
理事	学識者	加藤雄
理事	中央市長	田中久
理事	笛吹市長	倉嶋清次
理事	都留市長	堀内富久
理事	山梨市長	望月清賢
理事	身延町長	望月仁司
理事	市川三郷町長	久保真一
理事	丹波山村長	岡部政幸
総括監事	徳島県土地改良区理事長	野田正資
監事	上野原土地改良区理事長	奈良明彦
総括監事	桶無堰土地改良区理事長	今村正城
参事	戸澤正彦	山根正人
参事	他職員二	同

農業農村整備事業の調査設計・測量・換地確定測量業務 農業集落排水事業は最新の技術で応える土地連へ

山梨県土地改良事業団体連合会 土地改良相談室
建設コンサル登録：農業土木部門

〒400-8587 甲府市蓬沢1丁目15番35号 山梨県自治会館5階
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174
URL: <http://www.yamanashi-doren.or.jp>
E-mail: syomu@yamanashi-doren.or.jp



土地連の会議と行事報告

- 10・13 換地関係異議紛争処理対策検討会 砂防会館
- 10・14 全国土地改良大会青森大会 青森県
- 10・21 小水力発電等技術向上中央研修会(第2回) 全国都市会館
- 10・27 峡東地域世界農業遺産推進協議会設立総会 ぶどうの丘
- 11・6 関東一都九県土地改良連合会秋季総会及び要請活動 都道府県会館
- 11・16 換地技術者育成・確保連絡会議 福島市
- 11・17 山梨県農政推進農業委員大会 かいてらす
- 11・27 「農業農村の集い」 砂防会館
- 11・30 農業農村整備技術研修会 自治会館
- 12・3 農業農村推進協議会要請活動 東京都
- 12・4 土地改良区役職員等研修会 自治会館
- 12・4 NN事業等の予算確保に向けての要請活動 山梨県庁
- 12・6 やまなし農業・農村シンポジウム ぶどうの丘
- 12・7 県内農政部・会員への新年挨拶廻り 県内各所
- 12・12 多面的機能支払交付金活動研修会 自治会館
- 12・18 都道府県水土里ネット会長等会議 全国都市会館
- 12・29 日本水土総合研究所調査研究発表会 東海大学

あけましておめでとうございます

今年は例年になく暖かな冬となりました。

山梨では暖冬による影響で特産のころ柿が不作となりました。美味しいころ柿を作る条件として、気温と湿度が低く、風通しが良いことが欠かせませんが、今年は暖かく雨が降ったことも影響しているそうです。

異常気象による災害や農業生産への影響の話題が多い近年、暖冬の幕開けとなった今年は、どんな一年になるだろうかと思わずに、季節の移ろいと共に生活を営んできた日本人にとって、四季の訪れは大切な日本文化と言えるかもしれません。季節感を失うことなく、心豊かに穏やかに一年を過ごしたいと思えます。今年も、当連合会では会員の皆様の意見を反映し職員一同、一層の努力をして参ります。ご支援、ご協力の程をよろしくお願い致します。

専務理事

- 2・9 市町村職員・土地改良区等役職員一般研修 埼玉県・栃木県
- 2・10 小水力等再生可能エネルギー事業地方研修会 自治会館
- 2・18 山梨土地連定例監事会 自治会館
- 2・23 山梨土地連理事会 セレオ甲府
- 3・25 全国土地改良事業団体連合会総会及び功績者表彰式 砂防会館
- 3・28 農地集団化総会 都道府県会館
- 3・29 山梨土地連総会 セレオ甲府